

どうしたとか、手を痛め

いたい痛い泣きまします

(二) あら可哀想に可哀想に

それでは人形病院へ

入院させてなほすやう

早くお願いなさいませ

(三) あら嬉しいの、嬉しいの

あんな手なしの人形が

今日は私にだつこして

につこと笑つて居ります

(「私の人形」の譜)

(文責在記者)

○保育所の特徴

(生江孝之氏)

一、乳児死亡の減少、現今歐洲では大に乳児の死亡減少に努力し英國の如きは千人中百二十人に減少せり。之が爲に乳母に乳児の取扱方法を教ふる乳母相談所を設けたる所多し。其結果獨逸にては之を設けざる地方は百分中十四の死亡率あるに拘はらず。設けある地方は百分中五・八に止まりりと云ふ。日本に於ても明治廿一年頃より今日の状態を見れば、乳児の死亡約五割を増せり。之

れが應急の救済策を講ずること必要なり。

二、幼児健康の増進。日本に於ける一才乃至五才の乳児死亡の割合は英佛に比し殆んど五倍なり。我徴兵検査の結果は不合格者の多き地方は、乳児の死亡率も亦高きことを示せるより見れば、乳児の死亡は強ち弱きもの、死亡するのみに非らざることを知るべし。保育所の設置の必要之を以ても推することを得。

三、幼児智識の開發。細民の家庭に諸種罪惡の嫩芽たる悪習癖の行はるゝことは否定すべからず。保育所に收容せる兒童は、此惡習に遠かり其智識を開發せらるゝのみにても、充分の效果を得べし。之れ其特徴の一とする所以なり。

四、母子恩愛の持續。他の方法によれば母子の愛情を理會せざる子供を生ず。保育所の小兒は夜間母と共に寢食しく相互の愛情毫も傷けらるゝことなし。

五、育兒院收容兒童の減少。孤兒院中には孤兒のみならず貧兒の收容も多し保育完全に行はれたらば、一家貧なりとも家族揃ふて生活し得、育兒院收容の兒童數減少すべし。

六、家庭収入の増加。母親の安じて勞働し得る爲め。

七、獨立心の助長。保育所は原則として保育料を徴收す。幾分の義務を盡せりてふ觀念は、獨立心を損せず、却つて之を助長せしめうべし。

八、経費の減少。孤兒院に比し著しく経費を減少す。

九、家庭の改良。家庭を訪問するとは保育所の任務の一なり。家庭を改良することは訪問によりて充分に遂げらるべし。鮫ヶ橋の如きは其細民一圍總てが、二葉幼稚園の當事者を尊敬せり。

(X)